

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
中学3年	特進	国語	国語演習	3	必修

教科書	新 精選 国語総合 古典編 (明治書院)
その他の教材	読解をたいせつにする体系古典文法 (数研出版) 読解をたいせつにする体系古典文法 学習ノート (数研出版) 漢文学習必携 二訂版 (京都書房) ワイド&ビジュアル最新国語資料集(明治図書)

目標	①古典を学ぶ意義を理解し、古典に親しむ態度を養う。 ②歴史的仮名遣い・語彙・文法や、訓点の働き・句法など、古文・漢文の基本を学ぶとともに、作品に描かれた時代背景や人間像を理解する。 ③筆者の人間観や自然観・美意識を読み取り、自分自身の考え方や視野を広げる。 ④登場人物の心理や状況を理解し、朗読を通して古典を味わう姿勢を身につける。
学習のねらい	(高校1年学習内容「国語総合」の「古典分野」を学習する。) ①朗読を通して、古文のリズムを感じ取る。 ②歴史的仮名遣いや、古文の語彙・文法の基本を学ぶとともに、描かれた人間像や和歌をめぐるやりとりを理解し、古文の世界に親しむ。 ③作者の人間観や自然観、美意識などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。 ④訓点の働きや文の構成などを理解し、漢文を訓読できるようにする。 ⑤朗読を繰り返すことによって、情景と作者の心情との融合した世界を味わう。 ⑥故事のおもしろさや巧みな比喩と効用を味わいながら、作者の意図を把握する。
定期考査	国語の中間考査・期末考査に含めて実施 (年5回)
評価の観点 および 評価の方法	1. 学期評価 試験は、「中3国語」と「国語総合(古典)」の内容を合わせて出題する。 1・2学期 中間考査30%程度 期末考査30%程度 平常点40%程度 3学期 期末考査50%程度 平常点50%程度 2. 平常点 課題への取り組み、小テスト、提出物、授業態度等で算出する。 3. 評定 「中3国語」と「国語総合(古典)」と合算し、5段階で評定する。
履修上の注意	○授業で使用するもの 教科書、副読本、古語辞典、漢和辞典、ノート (古文と漢文の2冊準備) ○授業は、以下の点における予習に重点を置き、各自工夫した学習を心がける。 ・本文を繰り返し音読する。 ・ノートに教科書の本文を行空けで写し、語句の意味のわからない所を辞書で調べて書き込む。現代語訳を行い、訳せない箇所を明確にしておく。また、疑問点はチェックしておき授業に備えておく。 ・活用表や補助教材のプリントを配布したものを、各自なくさないようにファイルを用意して綴じておく。 ・授業には集中して臨み、その場で理解するように努める。なお、わからない所はそのままにせず、担当教師に質問して解決するようにする。 ・復習として文法・古語を整理する。 ・課題等がある場合は、期日を守り提出する。

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29(2017/18)年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容		テストと評価
1 学期	4 月	【古文編】 ※ガイドダンス 1. 古文入門 「児のそら寝」 ※動詞・形容詞・形容動詞 の活用	【漢文編】 1. 漢文入門 「送り仮名」「返り点」 「再読文字」「置き字」	・小テスト
	5 月	※助動詞の学習 1. 古文入門 「正直の徳」	1. 漢文入門(故事成語) 「守株」「螻蛄之斧」	・小テスト 【一学期中間考査】
	6 月	2. 随筆「徒然草」 「名を聞くより」 「ある人、弓射ることを習ふに」	「蛇足」「断腸」	・小テスト 【一学期末考査】
	7 月	「花は盛りに」	2. 十八史略 「鶏口牛後」 ※句形の学習	
夏季休業		課題（問題演習）		
2 学期	9 月	3. 物語「伊勢物語」 「芥川」「東下り」 ※助詞の学習	2. 十八史略 「臥薪嘗胆」	・小テスト
	10 月	4. 和歌（抜粋） 「万葉集」「古今和歌集」 「新古今和歌集」 ※和歌の修辞の学習	3. 唐詩 「漢詩のリズム」 「静夜思」「江雪」	・小テスト 【二学期中間考査】
	11 月	7. 土佐日記 「門出」	「送元二使安西」 「八月十五日夜、…」	・小テスト 【二学期末考査】
	12 月	「帰京」	4. 思想 「論語」	
冬季休業		課題（問題演習）		
3 学期	1 月	3. 竹取物語 「かぐや姫の嘆き」 ※敬語の学習	4. 思想 「不忍人之心」（孟子）	・小テスト
	2 月	8. 奥の細道 「立石寺」	5. 文 「桃花源記」	・小テスト
	3 月	6. 奥の細道 「能登殿最期」 ※百人一首		【学年末考査】